

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-i.ryo-u.ac.jp]

**【概要】**

社会福祉学原理とは、いわゆる社会福祉をある共通の視角から理解し、またそれを批判的に検討するための拠り所となる一般理論や基礎的概念を再審問する研究領域である。

社会福祉学は、自発的行為を源流とする「ソーシャルワーク（臨床福祉）」と、制度的再分配に端を発する「社会福祉（制度的福祉）」の位相を包摂するものである。そこでは、「交換的正義（前者）」と「制度的再分配（後者）」との整序が原理的課題となる。この立場から見れば、「ソーシャルワークの社会的再編（専門職制の確立）」は、ソーシャルワーカーが、本来は異なる位相における規範の内面化・統合化（アイデンティティの確立）を促進すると同時に、葛藤の契機ともなる。

そこで、本講義では、当該課題の解法に向けて、あらためて“社会福祉をどう捉えるのか”について、原理的視点から検討する。

**【学修目標】**

この講義では、事象としての「社会福祉・ソーシャルワーク」を再審問する視点の修得を目標とする。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	社会福祉学原理の基本的枠組み	原理論の系譜を踏まえ、分析枠組みを理解する。	志水
2	ソーシャルワークの社会的再編	関連文献を講読し、ソーシャルワークの社会的再編について理解する。	志水
3	交換様式の位相（互酬制 商品交換 制度的再分配）	関連文献を講読し、交換様式の位相について理解する。	志水
4	交換原理と制度的再分配原理	関連文献を講読し、交換原理と制度的再分配原理の差異について理解する。	志水
5	社会構成体の歴史（資本 ネーション 国家）	関連文献を講読し、社会構成体の歴史について理解する。	志水
6	功利主義的規範と社会福祉	関連文献を講読し、功利主義的規範と社会福祉の関連について理解する。	志水
7	リベラリズムの規範と社会福祉	関連文献を講読し、リベラリズムの規範と社会福祉の関連について理解する。	志水
8	コミュニタリアンの規範と社会福祉	関連文献を講読し、コミュニタリアンの規範と社会福祉の関連を理解する。	志水
9	グローバルな正義とコスモポリタニズム	関連文献を講読し、正義論の系譜とコスモポリタニズムについて理解する。	志水
10	贈与（日常）と援助（専門）	関連文献を講読し、贈与と援助の位相について理解する。	志水
11	welfare(特殊)とwell-being(一般)	関連文献を講読し、概念上の差異について歴史的展開を踏まえて理解する。	志水
12	積極的価値（幸福、人権、自立）と消極的価値（具体的な悪の除去）	関連文献を講読し、価値の位相について構造的に理解する。	志水
13	アイデンティティ・クライシス（交換的正義と分配的正義の葛藤）	関連文献を講読し、福祉労働の本質について理解する。	志水
14	正義と普遍性（リベラリズムの可能性）	関連文献を講読し、リベラリズムの可能性と社会福祉の意義について理解する。	志水
15	社会福祉学原理の課題と展望	全体の総括を通して、今後の課題や展望について整理する。	志水

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

**【教科書】**

岩田正美監修・岩崎晋也編著（2011）『リーディングス日本の社会福祉第1巻 社会福祉とはなにか 理論と展開』日本図書センター。

**【参考書】**

必要に応じて、適宜提示する。

**【学修の準備】**

現代社会における社会福祉諸問題の中から、原理的課題を鋭く読み取り、そこに内在する論点の明示化に向けた思考を常に意識すること。